

# 実行団体向け

# 社会的インパクト評価の基本

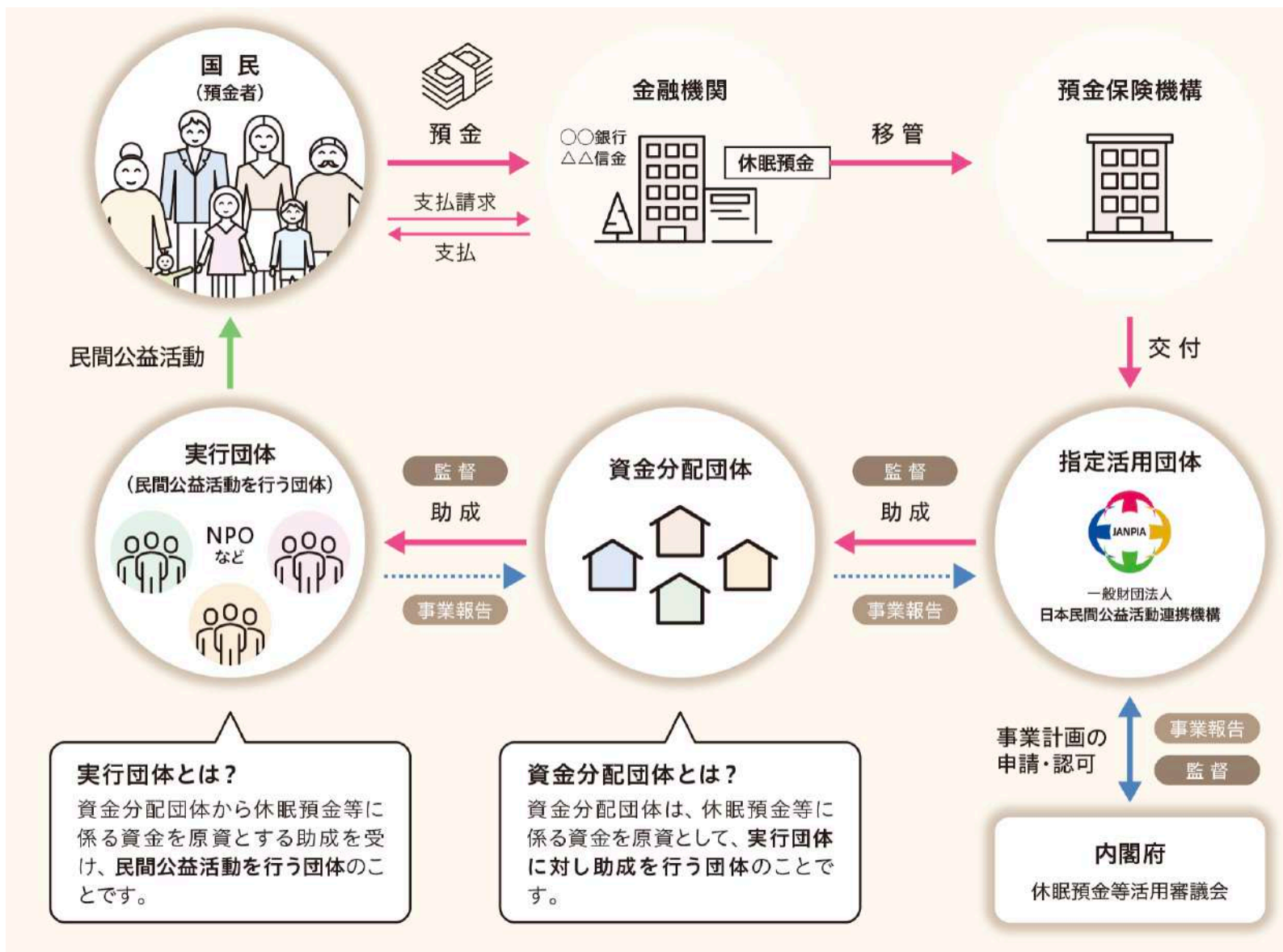
2021年2月16日



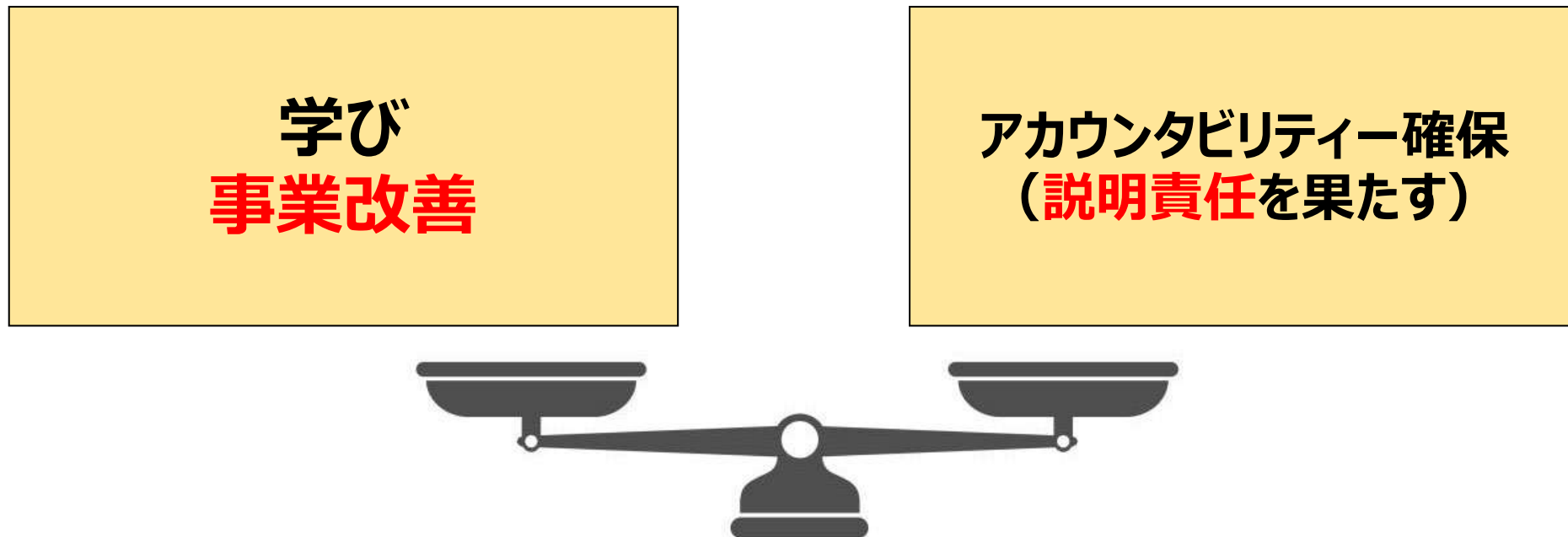
**JANPIA**

一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

# 休眠預金等の活用の流れ



- 休眠預金は国民の資産です。
- その活用にあたっては、最終的に社会の諸課題の解決を図るという「成果」を国民に目に見える形で生み出すことが求められます。
- **実行団体は、評価を「事業改善」の機会と捉えて活用ください。**



## 「社会的インパクト」の定義

短期、長期の変化を含め、当該事業や活動の結果として生じた社会的、環境的な「変化」や「便益」等の「アウトカム(短期・中期・長期)」

社会的  
インパクト評価

=

事実特定

+

価値判断

「データ・根拠」にもとづく  
アウトカムの把握

予め関係者と「価値基準」を  
合意することが必要

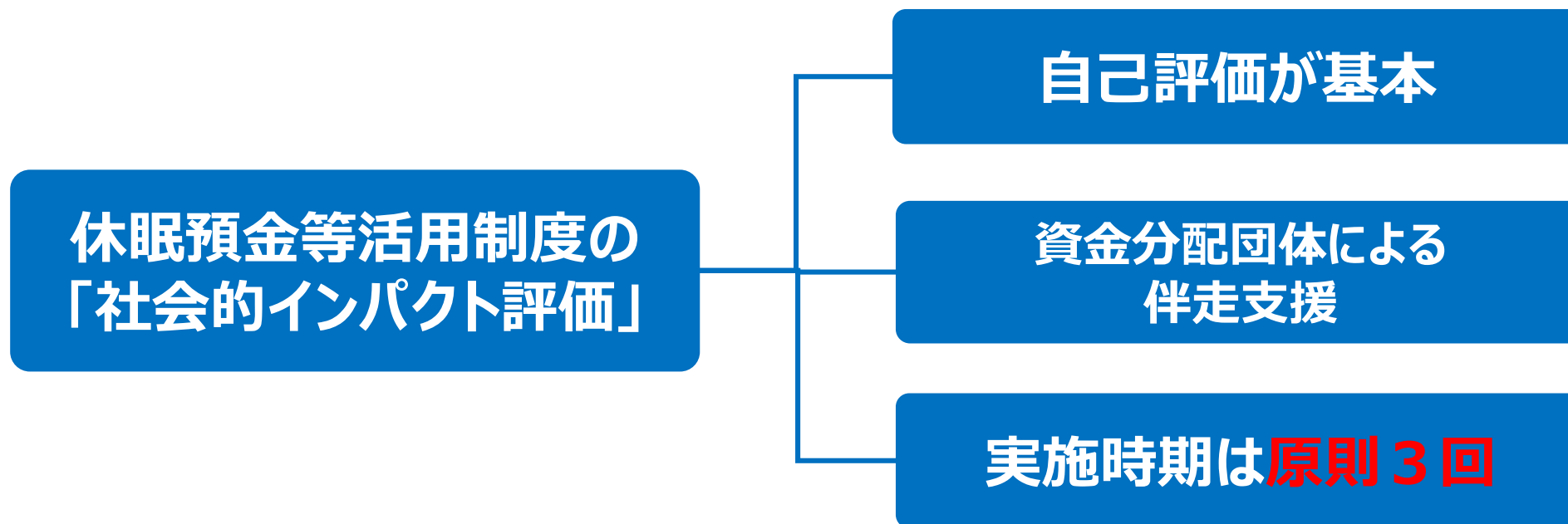
- どのくらいの「成果」(アウトカム)が生み出されたのか？
- それは、良かったのか、悪かったのか？
- その「成果」(アウトカム)は、事業の結果によって生み出されたものか？



休眠預金等活用制度の「評価」の特徴は、以下の通りです。  
事業の改善につながる自己評価であり、  
さらに資金分配団体の伴走支援があります。



事後評価による成果の把握だけでなく、  
成果を生むための事前評価から積極的に取り組みましょう。



・評価の質を高めるために、下記5つの原則に留意しましょう。

1	<b>多様な関係者の参加、連携、協働</b>	多様な関係者の幅広い <b>参加・連携・協働</b> 。
2	<b>信頼性</b>	信頼できる方法で収集されるなど <b>適切な情報</b> を使用する。
3	<b>透明性</b>	活動状況や調査、成果などは、正確かつ誠意ある情報開示、説明や報告を行う。
4	<b>重要性</b>	<b>事業を遂行する上で重要な事項</b> や、また組織内外の関係者の意思決定に役立つ事項など、特に重要と判断される項目を選択して評価する。
5	<b>比例性</b>	<b>組織の規模、資源や目的等に応じて</b> 評価方法や報告・情報開示の方法を選択する。

出所：資金分配団体・実行団体向けの評価指針 P.5 図表2-2